

2023 クラブマンロードレース第1戦

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■E アンリミテッド 参加: 8台/入賞: 4位					
1	46	山中 正之	MCR ガレージ	H-CBR1000RR	25
2	3	高原 昌幸	EISHIN レーシング	Y-YZF-R1	20
3	18	Thierry Leung	M.T.BOMBER	DUCATI-Panigale V4R	16
4	4	吉野 倫夫	RT.Remotion	Y-YZF-R1	13
5	2	蔵本 勝美	プライベートレーシング☆TSK	Y-YZF-R1	11
6	41	高野 利勝	チームRS カタクラ& RF.Team Jun	Y-FZS1000WR	10
7	51	水津 英彦	Team PRIZE	BMW-S1000RR	9
8	40	小松 保範	レックス SUWA	S-GSX-R1000	8

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■N アンリミテッド 参加: 1台/賞典外					
1	8	鎌田 淳	Leon & RGTT Racing	Y-YZF-R1M	--

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■OV40-LEGEND 参加: 9台/入賞: 3位					
1	64	市川 禎之	REAL FLAT	K-KZ1000J	25
2	6	山田 博文	やまだ行政書士事務所 RT	Y-YZF-R1	20
3	20	丸山 匠	REAL FLAT	H-VFR750F	16
4	17	伊藤 延佳	Bullets	Y-MT-09	13
5	29	霧生 晴彦	チーム☆マジンヘッド	APRILIA-RSV4	11
6	72	安西 桑一	チームRS カタクラ& RF.Team Jun	Y-YZF-R1	10
7	36	吉川 等 ^(04/09)	NNRC ガレージコナードリダ	S-SV650X	9

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■スーパーモンスター80s-A 参加: 3台/入賞: 1位					
1	83	新井 泰緒 ^(04/09)	BLUE THUNDERS	K-Z1000MK-II	25
2	30	佐藤 正之 ^(04/09)	GP クラフト	K-Z900	20
3	67	比留間 俊一 ^(04/09)	ロードマスターズ MC & プロガレージ	K-KZ1000J	16

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■サイドカー F I 参加: 5台/入賞: 2位					
1	12	小沼 英明/冨本至高	team TRS	KUMANO-LCR-GSX-R1000	
2	5	吉野 晴夫/渡辺富士男	レックス SUWA	YZF-1100R	
3	9	粕谷 悦次/小林佳南	Team 赤蜻蛉	LCR-GSX-R1000	
4	28	栗原 亨/小田切俊	ヴァンダ レーシング アギ	LCR-ハヤブサ	
5	54	清野 正光/中山結稀	ヴァンダ レーシング アギ	LCR-GSX-R1000	

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■サイドカー F II 参加: 2台/入賞: 1位					
3	13	平知恭/平有紀	Club Taira Promote	LCR-F2-600	
4	11	関原 肇/安田武司	ヴァンダ レーシング アギ	YZF-GSX-R1100	

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■GP125 参加: 6台/入賞: 2位					
1	13	石川 武	TEAM WIN-JACK	H-RS125R	25
2	15	鈴木 直樹	GUST CLUB nao R&D	H-RS125R	20
3	6	木村 一弘	RACING HORNET	H-NSF250	16
4	33	佐藤 弘志	プライベートレーシング&ハービー	H-RS125R	13
5	73	椎崎 巧翔	アキレーシング P&Y	Y-TZ125	11
6	11	越猪 友美子	チーム☆マジンヘッド(ゆみば〜挫けず走る)	H-RS125R	10

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■NEOプロダクション250 参加: 5台/入賞: 2位					
1	45	久保 隆	プライベートレーシング&ハービー	H-CBR250RR	25
2	39	久保田 明紀	チーム☆マジンヘッド	K-ZZR250RR	20
3	36	富山 卓	TEAM ZAMAER'S	K-Ninja250	16
4	34	矢野 慶一	チーム☆マジンヘッド	H-CBR250RR	13

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■NEO-A 参加: 4台/入賞: 1位					
1	37	佐野 富三治	TEAM-HIRO&NOGARO	Y-RZ250R	25
2	64	小池 淳一	プライベートレーシング&ハービー	H-NSR250R	20
3	47	阿部 晃三	イナ.レーシング.チーム	H-NSR250	16
4	58	石松 健夫 ^(04/09)	秋葉 MC animo!	K-ZX-25R	13

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■NEO-B 参加: 1台/賞典外					
1	1	久保 時彦	Team Domani	Y-YZF-R3	--

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■2&4-パワーバイク 参加: 3台/入賞: 1位					
1	30	中館 宏道	パワーバイク レーシング	PP-PNX85	25

<協賛スポンサー各社様>
群馬県嬭恋村/(株)アライヘルメット/(株)アールエス タイチ/(南)アルファスリー/
(株)イングラム・崎ビート(NORTON) (株)ウエストウッド井原商会/(南)うず潮レーシング
ウエストポイント/(南)NUTEC Japan/(株)MHプロダクツ/(株)協和興材(Microlon)/
住友ゴム工業(株)/(株)造形社(月刊ダートスポーツ)/(株)テクニカルスチール/
(南)テクニクス/東京スリーホークス/(南)日高システム/(株)ブリヂストン/(株)フォート
クリエイト/(南)フォーシーズンズ/プライベートレーシング&ハービー/北湘
モーターサイクル/(株)ワークスワン/OFFICE CAMELIN/PHOTO HUNTER/
Me&Her Racing/他(順不同)

< RACE REPORT >

2023 クラブマンロードレース第1戦となる筑波サーキットには、関東圏のみならず、北海道や四国、近畿方面から沢山のロードレースライダーが集結。天候は前日の雨から打って変わって好天に恵まれ絶好のレース日和で、クラブマンロードレース開幕戦スタートとなりました。ただし朝の気温は一桁台、タイヤ温度やエンジンセッティングに悩んだことでしょう。

そして開会式では、昨年のランキング上位のライダーを称える「2022 ランキング表彰式」を行いました。その代表としてサイドカー F I で1位となった粕谷・小林チームに認定証と、スポンサー各社からいただいた協賛品を授与いたしました。今年のランキング争いも気になるところです。

さてレースの方は、E アンリミテッドクラスにマン島 TT ライダーとしても活躍している#46 山中 正之選手(MCR ガレージ)がH-CBR1000RRで参戦。終始50秒台でラップする速さを見せつけて、ぶっちぎりの優勝。表彰式では「久しぶりにリッターバイクに乗りましたが、楽しかったです」と余裕のコメント。

オーバー40レジェンドクラスでは#64 市川 禎之選手(REAL FLAT)のK-KZ1000Jが優勝。混走となったスーパーモンスター80'sでは#83 新井 泰緒選手(BLUE THUNDERS)のK-Z1000MK-IIが優勝し、共に1980年代の空冷エンジン車が活躍したレースとなった。

MCF AJ 以外では減多に見られないニューラーと呼ばれるレーシングサイドカーのクラスにも注目。F I クラスは#12 小沼 英明 ドライバー/冨本至高パッセンジャー(team TRS) KUMANO-LCR-GSX-R1000 が周回遅れををるうかという勢いで快走して優勝。

F II クラスは#13 平知恭ドライバー/平有紀パッセンジャー(Club Taira Promote) LCR-F2-600 がクラス優勝に輝いた。

2000年前後に活躍していた、純粋なレース車両125ccが出走するGP125クラスでは、#13 石川 武選手(TEAM WIN-JACK)がH-RS125Rで優勝に輝いた。

250cc市販車両で闘うNEOプロダクション250クラスは、#45 久保 隆選手(プライベートレーシング&ハービー)がH-CBR250RRで優勝。ネオクラシック250cc車両が争うNEO-Aクラスは#37 佐野 富三治選手(TEAM-HIRO&NOGARO)がY-RZ250Rで優勝した。

1980年までに市販された車両(125クラスは1983年まで)が対象の旧車レース、COTT-125クラスでは#73 浜 元司選手(TEAM-HIRO)が'79 H-MTR125で優勝。COTT-90クラスでは#26 尾崎 則之選手(パワーバイク レーシング)が'79 H-CR80で優勝。COTT-50クラスでは#2 小林 哲志選手(チーム 永楽)が'69 S-AC50で優勝した。

ハーレーやインディアンなど1940年代~60年代までのアメリカンを中心としたAVCCでは、モディファイドAクラスに#40 熊谷 勝司選手(Team KUMA SPEED)が'46 HD-FL1380で優勝。モディファイドBクラスは、#83 松井 康通選手(Natural Steel Works)が'42 HD-WLA750で優勝。ストックBクラスでは#65 小林 寛明選手(Natural Steel Works)が'47 HD-WL750で優勝。ショベルヘッドオープンクラスとなるFSCRクラスでは#77 西田 裕選手(JOYRIDE SPEED SHOP)が'76 HD-FLH1450で優勝した。

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■COTT-125 参加：8台/入賞：2位					
1	73	浜元司	TEAM-HIRO	H-MTR125	25
2	185	野坂 嘉明	チーム 永楽	H-MT125R	20
3	40	松原 孝範	TEAM RISING & チーム 永楽	H-CR125M	16
4	27	藤井 薫	TEAM-HIRO	H-MT125R	13
5	31	斉藤 博	静岡スゴ〜ツライダ〜ス&望月太喜十朗	K-KH125	11
6	6	有澤 弘幸	チーム クリト	H-RS125R	10
■COTT-90 参加：5台/入賞：2位					
1	26	尾崎 則之	パワーハイヴ レーシング	H-CR80	25
2	51	黒米 晃一	パワーハイヴ レーシング	S-RM80	20
3	35	奥津 靖良	日大 & 明治 MCC	Y-YZ80	16
4	30	松橋 満	チーム 永楽	BS-90	13
5	88	島山 修一	チーム クリト	K-90S	11
■COTT-50 参加：5台/入賞：2位					
1	2	小林 哲志	チーム 永楽	S-AC50	25
2	79	野村 豊	チーム クリト	H-CB50	20

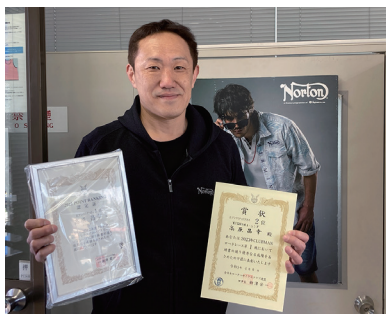
順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
■AVCC-MDF-A 参加：2台/入賞：1位					
1	40	熊谷 勝司	Team KUMA SPEED	HD-FL1380	25
2	5	牧田 武史	Team KUMA SPEED	HD-FL1350	--
■AVCC-MDF-B 参加：5台/入賞：2位					
1	83	松井 康通	Natural Steel Works	HD-WLA750	25
2	62	仁井田 光則	Natural Steel Works	HD-WR750	20
3	60	船水 猛	TOKYO INDIANS RACING CLUB	INDIAN-BIG BASE90016	
■AVCC-STOCK-B 参加：5台/入賞：2位					
1	65	小林 寛明	Natural Steel Works	HD-WL750	25
2	38	三柴 安生	El Mirage	INDIAN-Sport Scout	20
3	81	堀江 誠太	NSW 45 POWER	HD-WLDR750	16
■AVCC-FSCR 参加：12台/入賞：4位					
1	77	西田 裕	JOYRIDE SPEED SHOP	HD-FLH1450	25
2	26	米澤 政幸	TEAM-HOT-DOCK	HD-XR750	20
3	3	伊藤 一也	FIRST ARROW'S	HD-XR750	16
4	52	伊藤 毅	ROUGH MOTORCYCLE	HD-FLH1340	13
5	58	仲野 佳	ROUGH MOTORCYCLE	HD-FX1340	11
6	47	TOM	CHALLENGER RACING	HD-FLH1450	10
7	89	近藤 純司	HOT-DOCK	HD-XR750	9
8	7	渡邊 清和	オートグラフィックアジア	HD-XR750	8
9	69	北林 吾夫	El Mirage	HD-FLH1450	7
10	51	片吉 徹	ROUGH MOTORCYCLE	HD-FLH1340	6



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

① 1940～60年代までのヴィンテージアメリカンバイクで争われる、AVCCクラスのスタートV-TWINの快音がサーキットに響き渡る
 ② 開会式では2022年のランキング表彰式を行い、認定証とスポンサー各社からの副賞も授与
 ③ 昨年のEアンリミテッドクラスのチャンピオン高原昌幸選手には、2022認定証と今大会の賞状のダブル受賞となった
 ④ Eアンリミテッドクラスにマン島TTライダー山中正之選手がCBR1000RRで出走、ラップタイム50秒台で周回し、ぶっちぎりの優勝
 ⑤⑥⑦ NORTONの協賛品を授与された入賞者はレース仲間に囲まれ上機嫌の暫定表彰式となった